

JP 47019923

Title of the Invention

TANK OR VESSEL PARTITIONED INTO TWO OR MORE CHAMBERS BY
FLEXIBLE MEMBRANE

Abstract

The present invention relates to a tank or a vessel, an interior of which is partitioned into two or more chambers by a flexible membrane made of a substance which is corrosion-resistant and non-permeable to the substance being stored, and which is capable of storing two or more kinds of substances (fluid substances such as liquid, powder, grain, or the like) simultaneously or alternately without mixing, and when being loaded on a transport vehicle or the like so that it can be used as a moving tank, it is possible to unload one substance at a destination, then dispense with washing of the same tank, and simply and promptly load another useful substance, which is different from that loaded on the way to the destination, to enable an effective transport on the way back from the destination, without contamination by the previous load.

BEST AVAILABLE COPY



(五千円)

特 許 願

昭和 46 年 2 月

特許庁長官 殿

1. 発明の名称

ヒッセキア オートグラフペンラ ハンデスル キヨウシユウキ

筆記で応答時点を知知する装置

2. 発明者

特許出願人と同じ

3. 特許出願人

住 所 東京都中央区本町2-10-2番地

氏 名 菅 野 基 雄

4. 添付書類の目録

- | | |
|----------|-----|
| (1) 願書用紙 | 2 通 |
| (2) 明細書 | 1 通 |
| (3) 図 面 | 1 通 |

② 特願昭 46-7544 ① 特開昭 47-19923

④ 公開昭47.(1972) 9.26 (全 3 頁)

審査請求 無

① 日本国特許庁

③ 公開特許公報

庁内整理番号

⑤ 日本分類

6243 53

119 A0

明 細 書

1. 発明の名称

筆記で応答時点を知知する装置

2. 特許請求の範囲

説明に対する指導内容といくつかの段階に区分して一単位とし、この単位を順次記録した用紙を、密付きマスクと記録探検凹凸面等の筆跡変化装置を施した下敷で固められた紙層よりなる用紙引き出し口を設けた装置に挿入すると共に、一方前記用紙にはある情報が発示され、次の情報はまだマスクに遮蔽されているときは筆跡変化装置上にあり、次の情報を得るため用紙をスライドすれば筆跡変化装置上より外れる位置に、発示されている段階の情報が定ずる例えば解答記入欄、再考解答記入欄等の解答記入欄を設けたことを特徴とする装置で応答時点を知知する装置

3. 発明の簡単な説明

本発明は学習者に類似した教育装置に因するので、問題、解答へのヒント、正解と否を知らせる指示段階毎の解答記入欄を設け、どの欄に記入

されているかにより、解答箇所通知の段階まで応答がなされたかを知知出来るようにするための指定した記入欄の下にだけ密に筆跡変化装置があるように成し、解答記入文字の筆跡と重複文字に類する文字に変化させ、もし指定以外の欄に指定した階級以外の階級で記入すれば前記の再考文字とならない様になして不正解答を修正する装置と得ようとするものである。

提示した問題に対するヒント、正解等といいかにして示せるのが学習効果を大きく左右するので、解答前に正解が得られない工夫が種々試みられ、アメリカでは問題用紙を複数し、問題、ヒント、正解の順に引き出しながら読むようにして解答と記入させ、解答記入後は透明板下を送りこまれるようになった装置が開発されたが、たしかにヒントを見たときは解答文字が透明板下にあり訂正加筆が容易で、正解を見た場合と同様で、たしかに読まれた装置ではあるが、解答済みの解答用紙を取り出して、教壇に提示したり、復習用に別冊に綴じる段階での不正解答の訂正加筆と修正でき



BEST AVAILABLE COPY

-3-

ない状態があった。

本発明はその欠点を解消したものと各問題毎のヒント、正解、あるいは解説等とあらかじめ各問題の進捗状態に用意した解答用紙の（a）の所を、マスク（a）と下敷（a）を挿入した状態よりなる解答用紙引き出し（a）と設けた状態（b）に付し、解答用紙（a）と矢印方向に引き出しながら、問題、ヒント、正解等と順次読み取って学習する装置の下敷表面の一部に筆跡変化装置（a）を設けると共に、一方前記解答用紙（a）には、問題（a）のみに現れヒント（a）正解（a）はまたマスク（a）に隠蔽されているとすれば、筆跡変化装置（a）により、ヒント（a）が露（a）に現れた所定では筆跡変化装置（a）より外れる位置割え（b）に解答記入欄を設け、又更に正解（a）だけがマスク（a）に隠蔽されているときは筆跡変化装置（a）上にあり、正解（a）が現れたときは筆跡変化装置（a）より外れる位置割え（b）に解答記入欄を設ける。以上のような構成としたので、問題、ヒント、正解等各要素段階毎の解答記入欄のどの欄に記入されているかにより、解答内容が判知でき

て場合し、適当図例（a）と（b）とを紙に描き、一枚づつ引ちぎれる程度に折り付けて挿入すると共に、容器の一部に切欠部（a）を設け、また容器内側に用紙進行方向に付して適当傾斜を以てつ字形進行防止針（a）を起設する。本実施例では特に（a）の傾斜部（a）を凹部に形成し更に透明材よりなる蓋材（a）を設けたがよい。使用後は切欠部（a）より指または押しゴム等で用紙（a）をスライドさせれば一枚づつ引ちぎれて送り出され毎に情報記録毎に提示され解答文字は特殊筆跡文字となる。一度本器より引き出した用紙に記入しても特殊筆跡文字が得られず、再挿入は針（a）のたの困難で、装置上に設置しても蓋材の内写のたの記入できないので解答者は段階毎に解答しなければならぬ。ただし、ヒントや正解を見るに訂正の必要ない場合は記入しなくてもよいことは勿論である。解答済み用紙は教師に提出するか左に設けた繰り出し口に繰り出さる。

なおマスクの内側に突起部と突起すれば、繰り出し（a）のみ合つて各情報記録毎に適度にスト

特開 昭47-15923 (公)

しかる各要素段階毎に提示された解答記入欄に記入しなければ、特殊な筆跡の解答文字と見出さないので本教習器より解答済み用紙を取り出したのちも訂正加筆できない効果を生じた。

次に実施例について更に詳細と詳述する

まず筆跡変化装置（a）とはこのとで詳記すれば、筆跡が変化し、装置上で筆記したことが筆跡と見て判知できる装置のことで、例えば図示（a）のように、鉛筆で筆記したときその筆跡が紙面文字に類する文字となり、しかも筆跡に凹凸を感じない程度に刻線板（a）の凸面（a）に下敷表面と形成するか、あるいは下敷面にカーボン紙に類するものを貼着してもよい。

オ2図は解答用紙（a）と書いて断片とし、容器（a）に挿入した状態（a）（b）は容器内側に起設した進行防止針である、使用後は容器を段階毎に引き出して応答し、一定の長さで送り出したら切り取って別冊に綴じる。

オ3図は学習者の教紙の内側に本器を収容したような形式の実施例で、解答用紙（a）と紙状態にし

アップさせるのに便である。

以上図面について実施例を説明したが、同様の思想で例えばオ4図のように種々の変更がなされ、またデザインの異なる凹凸面を複数個起設して筆跡変化装置としてもよいことは勿論である。

本発明の効果は問題を提示されて思考し、ヒントを提示され思考し、正解を示されて正誤を知る解答思考過程のどの時点でどのような思考があるかを判知できるようになったことが最大の効果であるが更に従来の記述式教習器よりも困難とされていた問題の長短は、ヒントの長短は、ヒントの細分化、解答過程の特定等が可能になり、また長文読解のような問題でも前記装置（a）に出席できるので、あらゆる問題の出席ができるようになり、またヒント欄で解説書のどの所頁を見よ等の指示と見えればフィードバックもできる記述式教習器を兼ねて使用に供することができるようになった。

4. 図面の簡単な説明

オ1図は前記解答用紙の一部の平面図で、オ

BEST AVAILABLE COPY

- 7 -

特開 昭47-19923 図

2図実施例には居いて、オ3図実施例には紙状状にし重合して用いる。

オ2図は本発明オ一実施例で、説明のため用紙の一部を切欠して筆跡感知装置のものを示した斜視図。

オ3図はオ二実施例の斜視図

オ4図は紙状状用紙の一端と下に、紙端と上に折り曲げ、引出せばお互にからみ合って、筒状となる実施例の斜視図。

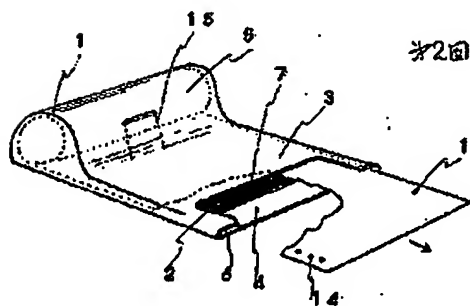
オ5図は筒状筒状用紙を折りたたんで封入した実施例の斜視図。

オ6図は上感下感と二つに巻いて封入した実施例の斜視図。

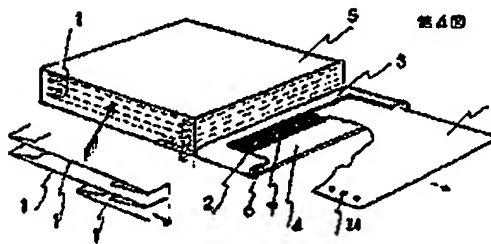
1図

○	問8 (解答記入欄 前問裏面の問題を見て)	
○	問8 正解欄	
○	問7 正解欄	
9 ^u	問7 (両方解答記入欄 第二ヒント欄)	12
○	問7 (両方解答記入欄 第一ヒント欄)	12
9 ^v	問7 (解答記入欄)	11
○	問7 問題欄	
10	問6 正解欄 (消去欄)	12
9	問6 ヒント欄 (両方解答記入欄)	11
8	問6 問題欄 (解答記入欄)	
14		13
○	問5 解説欄	
2*	問5 正解欄 (消去欄)	
○	問5 問題欄 (解答記入欄)	
○	問4 正解欄	

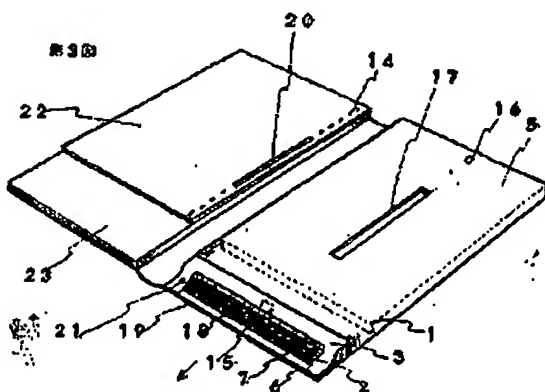
特許出願人 宮澤嘉彦



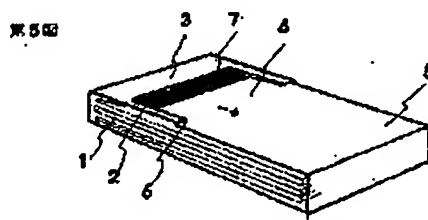
オ2図



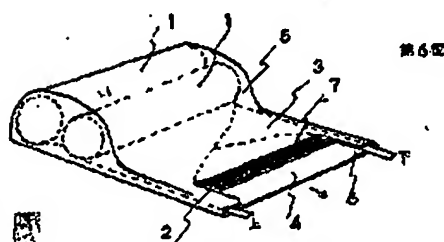
オ4図



オ3図



オ5図



オ6図

特許出願人 宮澤嘉彦

特許出願人 宮澤嘉彦